

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
だいくとおにろく	松居 直／再話 赤羽 末吉／画	福音館書店	エホン／ア	むらいちばんのだいくが、おおしごとをたのまれた。とてもながれのはやいかわに、はしをかけるという。さすがのだいくもしんぱいそうだ。すると、かわのなかからぶくぶくあわがうかんで、ぶっくり、おにがでてきた。ぶじに、はしをかけることができるだろうか。
ゼラルダと人喰い鬼	トミー・ウンゲラー／さく たむら りゆういち／やく あそう くみ／やく	評論社	エホン／ウ	人喰い鬼からこどもをまもるため、まちのひとびとはじぶんのこどもたちをちかにかくしました。おかげで人喰い鬼はおなかがぺこぺこ。そんななか、人喰い鬼をしらないゼラルダはまちにむかうとちゅうで、人喰い鬼にねらわれてしまいます。
鬼の首引き	岩城 範枝／文 井上 洋介／絵	福音館書店	エホン／イ	あるひ、ちからもちのわかものが、みやこにのぼろうとたびにでた。とちゅうでおおきなおににでくわした。おににはひとりむすめがいる。むすめはひとをくったことがない。「わかものでおいぞめじゃ」、とおにはむすめをよびよせた。くわれたくないわかものは、むすめとのしょうぶをもちかけた。
まゆとおに	富安 陽子／文 降矢 なな／絵	福音館書店	エホン／フ	きたのおやまに、のっぽのやまんばとやまんばのむすめのまゆがすんでいました。あるひ、まゆはぞうきばやしのおくで、おににあいました。おにはおなかがとてもすいていたのでまゆをたべてやろうとおもいました。そんなこととはつゆしらず、まゆはおにについていってしまいます。
おにのめん	川端 誠／作	クレヨンハウス	エホン／カ	むかし、こどものお春はおやもとをはなれて、おみせではたらいていました。ははのかおにそっくりなおめんをもらい、おめんをみてはさびしさをまぎらわしていました。ところが、若旦那がお春のおめんとおにのおめんをいれかえるいたずらをし、お春はびっくりぎょうてん。
おによりつよいおれまーい	土方 久功／再話・画	福音館書店	エホン／ヒ	とてつもなくつよいこどもおれまーいは、わがママがひどいためむらびとにおそれられ、とおくの島にすてられてしまいます。おれまーいは、そこにすむおにと力くらべをします。さすがのおれまーいでも、おににかてるのでしょうか。ぶじにもとのむらにかえられるかな。